

科目名 看護統合実習 I 時間割表記名 看護統合実習 I	配当時期 3年次 前期 単位数 1 単位 時間数 30 時間 (4 日間)	講義担当者 濱崎 友美
事前学習内容 実習要項に準じる。		
科目全体のねらい・授業目標 【実習目的】 医療チームの中で、看護師としての自覚を持ち、既習の知識・技術・態度を統合し、患者の状況・状態に応じた看護を実践できる 【実習目標】 1. 看護チームの連携・協働の実際について理解する。 2. 医療チームの連携・協働について理解する。 3. 保健・医療・福祉チームの一員としての自覚をもち、専門職業人として望ましい態度がとれる。		
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。 DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。		
授業の流れ 本実習では、臨床での看護チームの連携・協働および多職種との連携・協働について学び、一人の患者の健康回復に向けた支援が多職種で行われていることを理解する。 実習では、看護師・リーダー看護師・リンクナースにそれぞれ 1 日ずつシャドウイングを行う。シャドウイングを通して、看護師同士の申し送りの場面や情報共有の場面から、看護の継続性と連携を学ぶ。リーダー看護師の同行では、病棟における看護の全体像を理解する。リンクナースに同行し、患者の健康回復支援のためのチーム医療・看護の実際について学ぶ。 実習を通して、病棟の全体像を学び、多職種が各々の専門性を生かしながら連携・協働し、患者の状況に的確に対応した患者にとって最も良い医療を提供するために必要な看護師の役割について学びを深めていく。また、チーム医療の一員である看護師としてリーダーシップ、メンバーシップについて習得し、後期の臨地実習につながる学びとする。		
評価 ルーブリックに沿って評価する。		
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 看護管理 医学書院 他 既習のテキストを活用する		